

事業 012	事務事業名	交通安全対策費				担当部署	部名	市民環境部	
							課名	生活安全課	
						電話	52 - 7966		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第4章 安心して暮らせるまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第5節 交通安全対策の推進						目	交通安全対策費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~	平成 年度				
根拠法令・要綱等		交通安全対策基本法 第8次富山県交通安全計画							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	19 頁	個別計画	第8次射水市交通安全計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	全市民
	意図(どのような状態に)	人命尊重の理念の下に、市民が安全、安心、安定を実感できる総合的な交通安全対策を推進し、交通事故そのものを減少させる
事業内容	手段(どのような方法で)	参加・体験・実践型の交通安全教育の実施(交通安全教室等) 交通安全思想の普及活動(交通安全運動、高齢者ふれあい訪問) 安全運転の確保(ドライビング教室)

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	交通死亡事故者数(射水市内)	人	5	2以下	2	100.0	2以下	-	
	交通事故総量(人身・物損事故件数)	件	2988	2900	2848	98.2	2800	-	
	交通人身事故件数(射水市内)	件	539	500	524	104.8	500	-	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	交通安全教室の開催数	箇所	58	60	52	86.7	55
	交通安全教室の受講者数	人	6318	6500	6693	103.0	6800

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	9,023 千円	6,515 千円	27.8	6,311 千円
財源内訳	人件費	1,999 千円	2,000 千円	0.1	1,967 千円	
	退職手当引当金相当額	千円	千円		千円	
	事業コスト計	11,022 千円	8,515 千円	22.7	8,278 千円	
	国県支出金	0 千円	533 千円	皆増	千円	
	その他	0 千円	千円		千円	
	一般財源	11,022 千円	7,982 千円	27.6	8,278 千円	
当該事務従事職員数		2.00 人	2.00 人	0.0	2.00 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	交通対策基本法で市町村としての責務が明記されているほか、安全・安心なまちづくりにとっては必要不可欠なものである
有効性	3	交通死者数は平成19年(6人)から、人身事故件数・負傷者数は毎年減少している
達成度	3	交通死者数は第8次射水市交通安全計画の指標で示す2名を達成し、人身事故件数及び負傷者数は減少するなど目標は達成しているものの、依然として、死亡事故のうち高齢者の占める割合が高い
効率性	4	各交通安全団体の得意分野を活かした連携を図りつつ、街頭活動による交通安全啓発、各種交通安全教室の開催により全市民に対して交通安全意識を高める

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	射水市内の全高齢者を対象とした、特に、交通安全教室などに参加しないような高齢者に対する反射材や交通安全思想の普及を図る必要がある。 警察との連携による人身物損事故発生場所等を分析した上で、交通安全対策を講じ、交通事故総量の減少を図っていく必要がある。

事業 013	事務事業名	コミュニティバス運行費				担当部署	部名	市民環境部	
							課名	生活安全課	
						電話	52 - 7966		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第3節 公共交通網の整備						目	地域交通対策費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 - 年度			
根拠法令・要綱等		道路運送法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	16	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	全市民
	意図 (どのような状態に)	市民の移動手段の確保
事業内容	手段 (どのような方法で)	・バス事業者に運行を委託

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	コミュニティバス利用者数	人	418982	420000	404539	96.3	405000	410000	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	利用率の低い地域における利用増を目的としたPR	回	3	20	20	100.0	5

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費		232,917 千円	223,968 千円	3.8
	人件費		6,900 千円	6,800 千円	1.4	6,800 千円
	退職手当引当金相当額		1,000 千円	1,000 千円	0.0	1,000 千円
	事業コスト計		240,817 千円	231,768 千円	3.8	240,300 千円
財源内訳	国県支出金		18,832 千円	19,639 千円	4.3	23,893 千円
	その他		0 千円	0 千円		0 千円
	一般財源		221,985 千円	212,129 千円	4.4	216,407 千円
	当該事務従事職員数		1.69 人	1.76 人	4.1	1.76 人

評価項目	点数	説明
必要性	3	高齢化が進む中、交通弱者の移動手段の確保のため必要
有効性	3	これまでの形態にこだわらず見直しを検討
達成度	4	利用率の低い地域において利用増を目的にPRを図った。
効率性	3	これまでの形態にこだわらず見直しを検討

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
C	各地区の生活実態に応じた運行方法への見直し

事業 014	補助金 の名称	LRTシステム整備費補助金				担当 部署	部名	市民環境部	
							課名	生活安全課	
						電話	52-7966		
総合 計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算 科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第3節 公共交通網の整備						目	地域交通対策費
補助期間		平成 14 年度 ~			平成 22 年度				
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則							

事業 目的	対象 (交付先)	万葉線株式会社						
	意図 (補助目的)	市民の重要な交通手段である万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上						
事業 内容	手段 (主な活動)	・補助金の交付						
類 型 区 分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	万葉線利用者数	人	1140128	1150000	1150413	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	56,350 千円	(金額)	124,625 千円	(金額)	4,688 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	各年度の事業計画に基づく額				千円	
	定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	市民の重要な交通手段であり維持が必要である。
有効性	4	万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上に貢献している。
効率性	4	必要かつ適正な範囲の額である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	平成22年度で終了予定

事業 015	補助金の名称	輸送高度化設備整備費補助金				担当部署	部名	市民環境部	
							課名	生活安全課	
						電話	52-7966		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第3節 公共交通網の整備						目	地域交通対策費
補助期間		平成 14 年度 ~			平成		年度		
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則							

事業目的	対象(交付先)	万葉線株式会社						
	意図(補助目的)	市民の重要な交通手段である万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上						
事業内容	手段(主な活動)	・補助金の交付						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	万葉線利用者数	人	1140128	1150000	1150413	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	12,379 千円	(金額)	15,488 千円	(金額)	39,028 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	各年度の事業計画に基づく額				千円	
	定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	市民の重要な交通手段であり維持が必要である。
有効性	4	万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上に貢献している。
効率性	4	必要かつ適正な範囲の額である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	施設の整備、改善に継続した支援が必要

事業	補助金の名称	輸送高度化設備整備費補助金(補助対象外)				担当部署	部名	市民環境部	
016							課名	生活安全課	
							電話	52-7966	
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第3節 公共交通網の整備						目	地域交通対策費
補助期間	平成 14 年度 ~ 平成 年度								
根拠法令・要綱等	射水市補助金等交付規則								

事業目的	対象(交付先)	万葉線株式会社						
	意図(補助目的)	市民の重要な交通手段である万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上						
事業内容	手段(主な活動)	・補助金の交付						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	万葉線利用者数	人	1140128	1150000	1150413	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	4,000 千円	(金額)	2,667 千円	(金額)	2,667 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	各年度の事業計画に基づく額				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	市民の重要な交通手段であり維持が必要である。
有効性	4	万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上に貢献している。
効率性	4	必要かつ適正な範囲の額である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	施設の整備、改善に継続した支援が必要

事業 017	補助金 の名称	万葉線運行費補助金(赤字補填分)				担当 部署	部名	市民環境部	
							課名	生活安全課	
						電話	52-7966		
総合 計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第3節 公共交通網の整備						目	地域交通対策費
補助期間		平成 14 年度 ~			平成 年度				
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則							

事業 目的	対象 (交付先)	万葉線株式会社						
	意図 (補助目的)	市民の重要な交通手段である万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上						
事業 内容	手段 (主な活動)	・補助金の交付						
類 型 区 分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	万葉線利用者数	人	1140128	1150000	1150413	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	23,500 千円	(金額)	23,250 千円	(金額)	23,500 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	各年度の事業費精算に基づく額				30,000 千円	
	定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	市民の重要な交通手段であり維持が必要である。
有効性	4	万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上に貢献している。
効率性	4	必要かつ適正な範囲の額である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	運行の維持、活性化及び利用者の利便性の向上のため、継続した支援が必要

事業 018	補助金の名称	射水地区防犯協会活動補助金				担当部署	部名	市民環境部	
							課名	生活安全課	
						電話	52-7966		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第4章 安心して暮らせるまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第1節 暮らし安全なまちづくりの推進						目	防犯対策費
補助期間		平成 18 年度 ~			平成		年度		
根拠法令・要綱等									

事業目的	対象(交付先)	全市民(射水地区防犯協会)						
	意図(補助目的)	犯罪被害に遭わないよう防犯意識の向上と啓発活動に対する補助金						
事業内容	手段(主な活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・かぎかけキャンペーン、振込め詐欺防止キャンペーンなど各種防犯啓発活動 ・児童の登下校時の見守り活動 ・その他、街頭犯罪抑止に関する広報啓発活動 ・自主防犯パトロール隊への支援 						
		類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	自主防犯パトロール隊数(防犯協会に登録しているもの)	隊	42	45	43	95.6
	自主防犯パトロール隊員数(防犯協会に登録しているもの)	人	2362	2500	2377	95.1
	各種啓発キャンペーン	回	6	10	10	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	4,978 千円	(金額)	4,480 千円	(金額)	4,000 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	各年度の事業計画に基づく額				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	「地域の安全は地域で守る」のスローガンのもと、地域の自主防犯パトロール隊への支援や各種キャンペーンの実施による啓発活動は必要不可欠である
有効性	4	自主防犯パトロール隊の増、各地区における啓発活動等により刑法犯の認知件数は減少した
効率性	4	民間パトロール隊連絡協議会との連携、活動支援等についての充実も今後必要と考える

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	自主防犯パトロール隊への継続した活動支援及び市民への広報啓発活動を行うために必要

事業 019	補助金 の名称	射水市安全なまちづくり推進センター補助金				担当 部署	部名	市民環境部	
							課名	生活安全課	
						電話	52-7966		
総合 計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算 科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第4章 安心して暮らせるまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第1節 暮らし安全なまちづくりの推進						目	防犯対策費
補助期間		平成 18 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		射水市安全で快適なまちづくり条例、射水市安全なまちづくり推進センター規約							

事業 目的	対象 (交付先)	全市民(射水市安全なまちづくり推進センター)						
	意図 (補助目的)	住民による自主的な防犯活動を推進するとともに、犯罪の防止に配慮した環境整備を促進し、もって安全で安心して暮らせる射水市の実現に寄与することを目的とする						
事業 内容	手段 (主な活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区安全なまちづくり推進センターの設置及び必要な支援 ・講演会、研修会、広報など安全なまちづくりに関する普及啓発 ・地域内の犯罪発生状況の把握、地域安全マップの作成など防犯に関する情報の収集・提供 ・富山県安全なまちづくり推進本部、地区推進センターその他関係機関との連絡調整 ・その他安全なまちづくりの推進に必要なと認められる事業の実施 						
		類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	地区安全なまちづくり推進センター設置数	地区	26	27	26	96.3
	各種キャンペーンの実施(カギかけ防犯キャンペーン、振り込め詐欺防止キャンペーン等)	回	6	10	12	120.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	500 千円	(金額)	500 千円	(金額)	200 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	各年度の事業計画に基づく額				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	20年度に比べ、ショッピングセンター、JR各駅などでキャンペーンでの実施回数を増やしたことにより、多くの市民にPR、啓発活動ができ、当初の目標を達成できた。
有効性	4	各種キャンペーンを実施し、市民に対して啓発活動を行うことにより刑法犯の認知件数が減少した。
効率性	3	多くの市民の方が集まる場所で実施することを考える

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	地域の安全、安心を継続して推進していくために支援が必要

事業	補助金の名称	青色回転灯パトロール支援補助金				担当部署	部名	市民環境部	
020							課名	生活安全課	
							電話	52-7966	
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第4章 安心して暮らせるまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第1節 暮らし安全なまちづくりの推進						目	防犯対策費
補助期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度								
根拠法令・要綱等	射水市青色回転灯パトロール実施補助金交付要綱								

事業目的	対象(交付先)	自家用車に青色回転灯を装備してパトロール活動を実施する自主防犯パトロール隊						
	意図(補助目的)	犯罪の抑止効果の高い青色回転灯装着車によるパトロール活動に対して支援することにより、地域の犯罪被害を防止し、安全で安心して住めるまちづくりを推進する						
事業内容	手段(主な活動)	・青色回転灯パトロール活動で使用する経費(ガソリン代)の一部を補助する						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	青色回転灯装備車登録数	台	30	35	35	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	136,400 千円	(金額)	96,200 千円	(金額)	95,550 千円	
	(件数)	14 件	(件数)	12 件	(件数)	10 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	各年度における必要台数の額				15 千円	
	定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	活動に要する経費(ガソリン代)の一部の補助することにより、青色回転灯装着車によるパトロールを実施しやすくなる
有効性	4	パトロール活動範囲の実施回数の増やすことも考えられるため、犯罪の未然防止に努めることができる
効率性	3	多くの青色回転灯装着車を登録し、運行することにより地域の犯罪抑止力は高くなっていくと考える

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	継続したパトロールを行うため支援が必要